

平成29年度明るい選挙啓発作品コンクール 入賞おめでとう!

平成29年度明るい選挙啓発作品コンクールポスターの部で、葉山中学校2年生の坂本莉子さんが特選、葉山中学校3年生の福井碧美花さんが佳作を受賞しました。おめでとうございます。

平成28年から選挙権年齢が18歳に引き下げられました。日頃から政治や選挙に関心を持ち、大切な一票を投じましょう。

(選挙管理委員会)

左:坂本莉子さん 右:福井碧美花さん

《SWのつばやき》 学校の先生の仕事

経済協力開発機構(OECD)の調べでは、参加34か国の中で日本の中学校教員の1週間の仕事時間は最も長い53・9時間でした。文科省の2016年度の実態調査では、授業の準備や事務作業、校内での役割、生徒や家庭への対応などで、時間外勤務が月80時間を超える小学校が33・5%、中学校が57・7%もあり「尋常ではない」状態です。

そこで文科省の検討会議は教員の勤務時間の上限や中学校の運動部活動の在り方についてのガイドラインを示し、部活動では週2日以上は休養日を設けたり、外部人材の部活動指導員を任用するよう求めています。この指導員は学校職員に位置づけられ、顧問として技

術指導を行ったり大会の引率などが認められています。

部活動は教育課程外ですが学校教育の一環です。ある学校では練習メニューを部員が考えて決め、生徒に部活運営を担わせることにより自主性や責任感、意欲などを養うと同時に、教員の負担軽減を図っています。また外部指導員には週1〜2回来てもらって専門的な指導を受けています。

部活動が生徒にとつてどんな意味があるのかということ踏まえ、生徒、教員、外部指導者、保護者が話し合う場を設けて役割分担を考えてみてはどうでしょうか。

津野町教育委員会
SW(スクールソーシャルワーカー)
久寿義人



【相談室】かわうそ図書館2階(B&G海洋センターでも相談可能)
火・金曜の午前9時30分〜午後4時30分
電話番号: 080-08065172